

# 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (素案)

---

平成27(2015)年12月



多摩市

# ■ 目次

■ 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要	1
■ 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像	2
■ 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定の背景	3
■ 多摩市人口ビジョン	4
・人口の現状と将来推計の分析 ～課題は①人口減少 ②急速な高齢化 ③少子化～	5
・人口の将来推計(総人口・年齢3区分別) ～50年後には人口が32%減～	6
・年齢3区分別人口割合の将来推計 ～50年後の高齢化率は43%に～	7
・出生率の推移 ～出生率は全国平均を大きく下回る～	8
・人口動態から見た目指すべき将来の方向 ～若い世代の流入と出生数の増加、いつまでも安心して暮らせるまちづくりを目指す～	9
・将来展望人口(目指すべき将来人口) ～2割程度の人口減少にとどめる～	10
■ 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略	12
・多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略における4つの基本目標	13
◆基本目標1 安定した雇用を創出する ～多様な就業を支える環境づくり～	14
◆基本目標2 新しい人の流れをつくる ～新たな交流と若い世代の呼び込み～	15
◆基本目標3 子育て・子育ちをみんなで支える ～仕事と子育てを両立できる地域づくり～	16
◆基本目標4 いつまでも安心して暮らし続けられるまちをつくる ～”健幸”に暮らせるまちづくり～	17

# ■ 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

## 位置づけ ～「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定～

「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づく、「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定します。

※市の最上位計画である「第五次多摩市総合計画 第2期基本計画」(平成27(2015)年4月策定)で掲げた目標や施策を基本に、特に定住促進や雇用創出、子育て支援等の施策を重点的に展開します。

## 構成 ～「多摩市人口ビジョン」・「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2部構成～

- **多摩市人口ビジョン** (対象期間:平成72(2060)年まで)  
人口の現状分析と将来人口の推計の分析から、多摩市が目指すべき将来の方向を示します。
- **多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略** (対象期間:平成27(2015)年から平成31(2019)年まで)  
多摩市人口ビジョンを踏まえ、定住促進、雇用の創出、子育て支援等の施策を5カ年で戦略的に展開します。

# ■ 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像

基本目標 ※基本目標ごとに数値目標を設定

主な取り組み ※取り組みごとにKPI（重要成果評価指標）を設定

## ◇ しごと・ひとの好循環づくり

①安定した雇用を創出する  
～多様な就業を支える環境づくり～  
<Keyword>  
雇用促進, 就労支援, 創業支援, 活躍の場

1. 女性、若者、シニアが元気に働き、活躍する環境づくり  
(1)女性が就労しやすい環境の整備、(2)起業・創業の支援、(3)シニア世代の活躍支援
2. 地元雇用の創出  
(1)多様な雇用の場の確保

②新しい人の流れをつくる  
～新たな交流と若い世代の呼び込み～  
<Keyword>  
魅力発信, 来街促進, 定住促進

1. 若い世代・子育て世代に魅力ある住宅政策の展開  
(1)若い世代・子育て世代の転入・定住促進、(2)多様なニーズに応える空き家活用・住替え支援
2. 若者の視点を活かしたまちづくりの推進  
(1)学生のまちづくりへの参画促進
3. 新たな交流が生まれ、育まれるまちづくり  
(1)「訪れてみたい、住んでみたい多摩市」に向けたPR、(2)地域間交流の促進
4. シティセールスの推進  
(1)多摩市のシティセールス戦略の構築、(2)まちのPR・魅力発信

③子育て・子育てをみんなで支える  
～仕事と子育てを両立できる地域づくり～  
<Keyword>  
仕事と子育ての両立支援, コミュニティ, 教育

1. 子育てを支える保育サービスの基盤整備  
(1)保育所の待機児対策、(2)就労と子育ての両立支援、(3)放課後の子どもの居場所づくり
2. 地域ぐるみの子育て・子育て支援  
(1)地域コミュニティによる子育て支援の充実
3. 特色ある教育の推進  
(1)持続発展教育・ESDの推進
4. 《再掲》女性が就労しやすい環境の整備、近居・隣居の支援

## ◇ 好循環を支える、まちの基盤づくり

④いつまでも安心して暮らし  
続けられるまちをつくる  
～“健幸”に暮らせるまちづくり～  
<Keyword>  
健幸, コミュニティ・ネットワーク

1. 健幸都市（スマートウェルネスシティ）に関する取り組みの推進  
(1)健康寿命を延伸する取り組み、(2)多摩市版地域包括ケアシステムの構築、  
(3)身近な相談拠点の整備
2. 都市基盤の整備・維持更新  
(1)多摩ニュータウン再生の推進、(2)既成市街地の都市基盤整備の推進
3. “健幸”を支えるコミュニティ・ネットワークの構築  
(1)市民の多様な活動を支える環境整備

# ■ 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定の背景

## 国の地方創生に向けた動き ～人口減少克服と地方創生～

平成20(2008)年に始まった人口減少は、今後加速度的に進むことが想定されています。また、人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな負荷となることが懸念されています。こうした中、国は、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指し、平成26(2014)年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

## 多摩市における策定の考え方 ～人口減少と高齢化問題への対応策として～

多摩市においても、全国的な人口減少が見込まれる中、将来的に人口を維持することは難しくなっています。また、ニュータウン地区人口が約7割を占める本市では、国を上回る水準で高齢化が進行していきます。そこで、人口減少及び急速な高齢化に伴う諸問題を克服するため、「しごと・子育て・健幸で選ばれるまち・多摩」をキャッチフレーズに、「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

# 多摩市人口ビジョン

## 人口の現状に基づく将来見込 (推計) ※

※国立社会保障・人口問題研究所による推計準拠人口

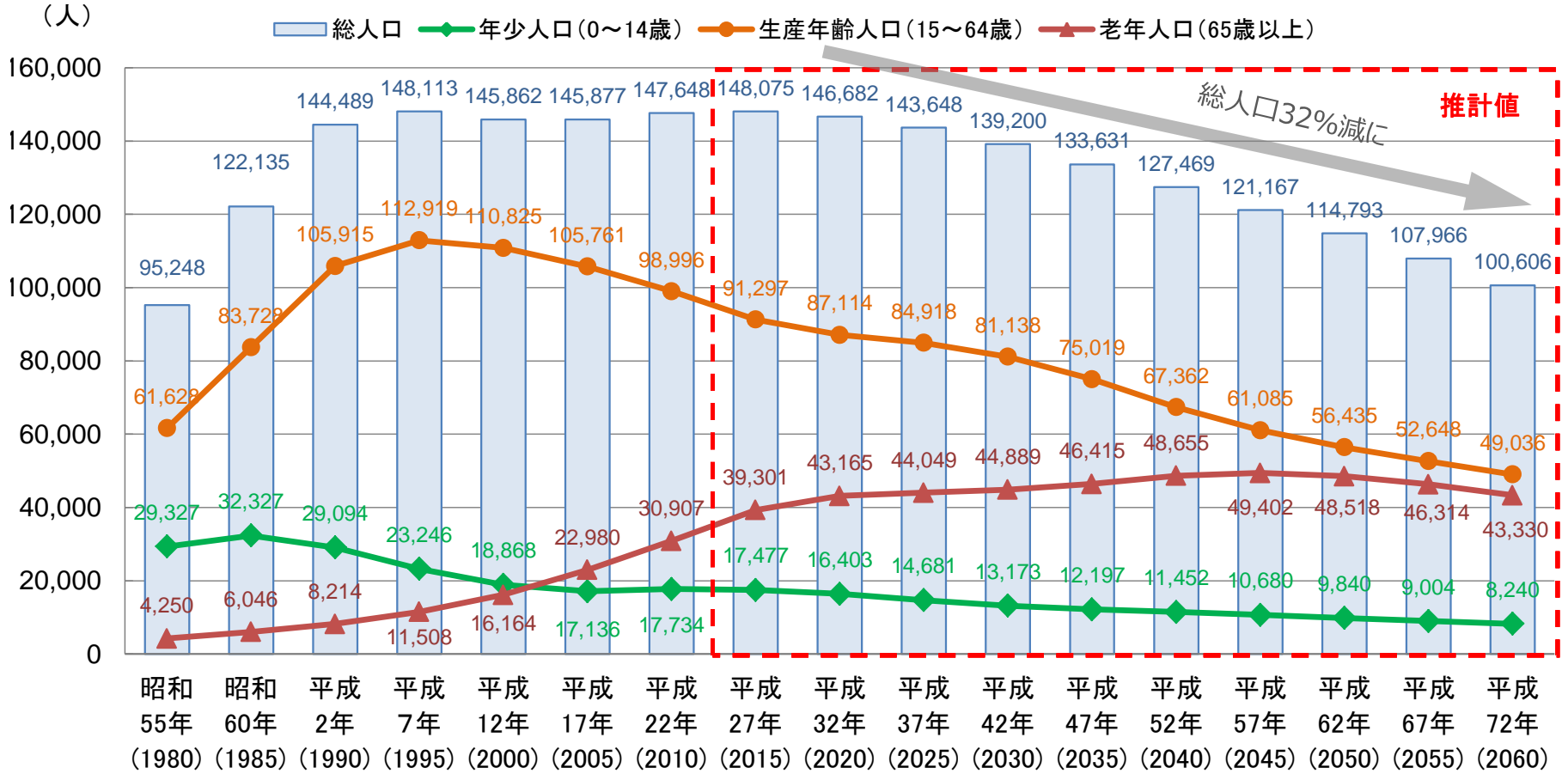
平成22(2010)年:**14.7**万人 ⇒ 平成72(2060)年:**10**万人

## 将来見込 (推計) における課題

- 将来的には人口が大幅に減少 ～50年後の総人口が32%減～
  - 平成22(2010)年のから平成72(2060)年までの50年間で総人口が32%減
- 高齢化の急速な進行 ～50年後の高齢化率は43%に～
  - 平成72(2060)年の老年人口は4割増、高齢化率は43%まで上昇
- 生産年齢人口(15歳～64歳)の減少と少子化 ～出生率は全国平均を大きく下回る～
  - 平成25(2013)年の出生率:1.13(全国平均:1.43)
  - 平成72(2060)年の年少人口・生産年齢人口は半減

# ■人口の将来推計（総人口・年齢3区分別）

～50年後には人口が32%減～



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年）」  
 ※平成52年以降は内閣官房まちひととしごと創生本部による推計

- ・平成42年には139,200人、平成72年には100,606人（平成22年比で▲32%）まで減少
- ・平成72年の生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（0～14歳）は平成22年比で半減、老年人口（65歳以上）は4割増と大幅な増加

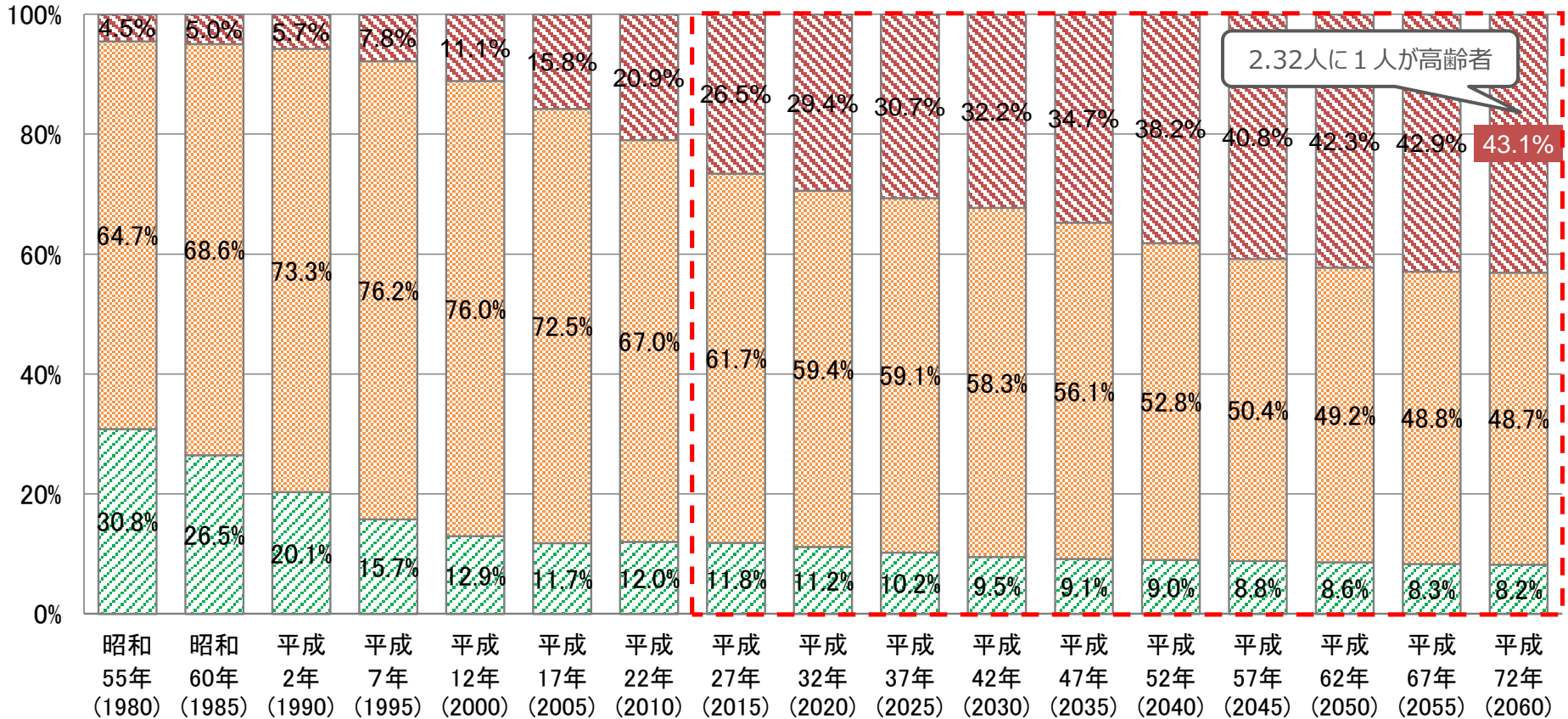


# ■ 年齢3区分別人口割合の将来推計

～50年後の高齢化率は43%に～

■ 年少人口(0～14歳)   ■ 生産年齢人口(15～64歳)   ■ 老年人口(65歳以上)

推計値



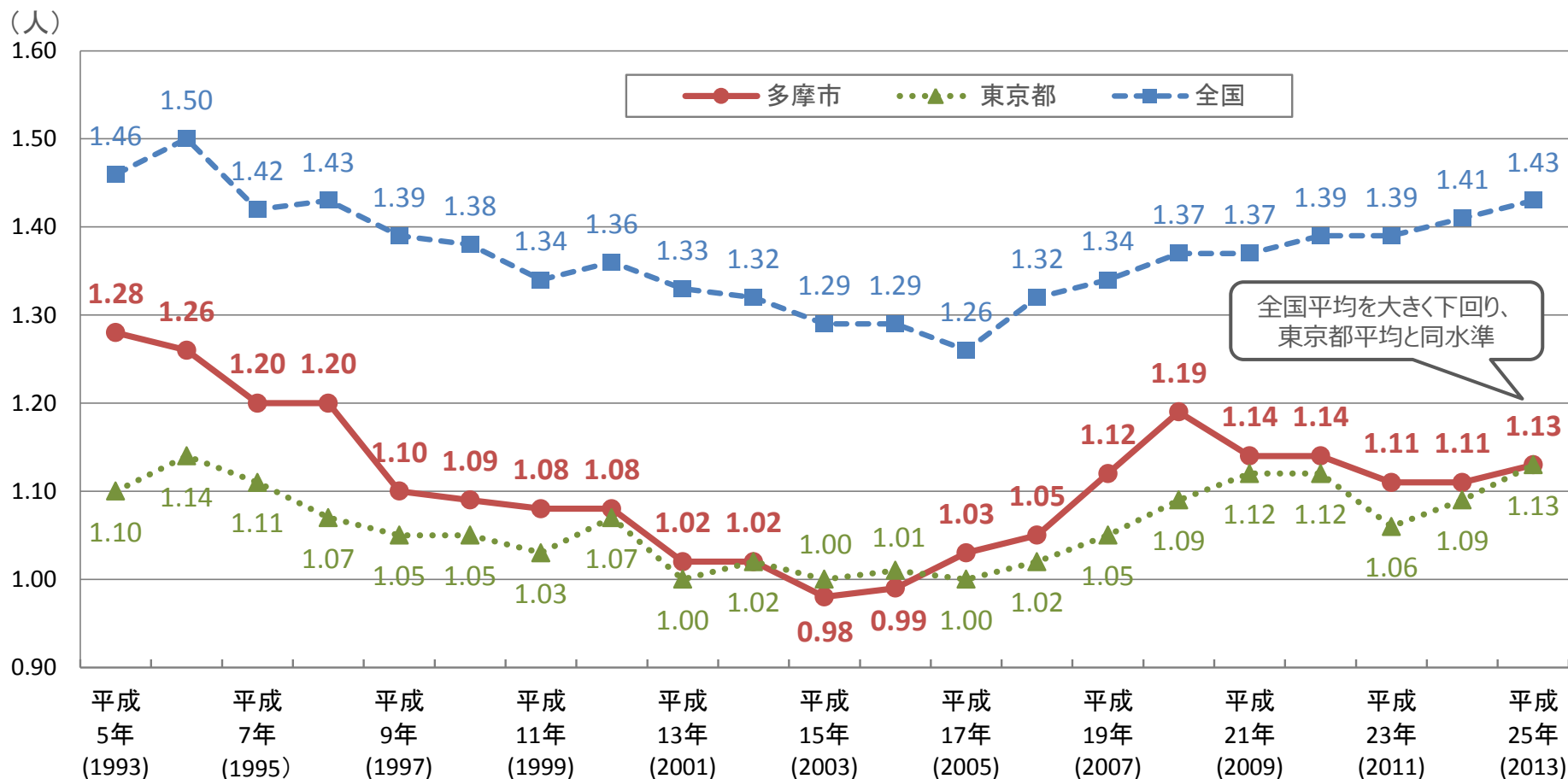
出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年）」

※平成52年以降は内閣官房まちひととしごと創生本部による推計

- ・平成72年には年少人口（0～14歳）は8.2%まで低下
- ・生産年齢人口（15～64歳）は48.7%まで低下
- ・老年人口（65歳以上）は43.1%まで上昇、平成22年の20.9%と比べて大幅な上昇

# 出生率の推移

～出生率は全国平均を大きく下回る～



出典：厚生労働省「人口動態統計」

・多摩市の合計特殊出生率※は全国平均を大きく下回り、総じて東京都平均を上回る水準で推移していましたが、平成25年では1.13と東京都平均と同水準です。

※ 合計特殊出生率…1人の女性が生涯に産むと推定される子どもの数で出産期と想定した15～49歳までの女性の年齢別出生率を合算したもの

# ■ 人口動態から見た目指すべき将来の方向

～若い世代の流入と出生数の増加、  
いつまでも安心して暮らせるまちづくりを目指す～

## 人口動態における課題

### ● 将来的には人口が大幅に減少

～50年後の総人口は32%減～

- ・平成22年の14.7万人から平成72年には10万人まで減少、人口維持は難しい状況

### ● 高齢化の急速な進行

～50年後の高齢化率は43%に～

- ・平成72年の老年人口は4割増、高齢化率43%まで上昇

### ● 生産年齢人口の減少と少子化

～出生率は全国平均を大きく下回る～

- ・平成72年には年少・生産年齢人口は半減
- ・平成25年の多摩市の合計特殊出生率は1.13と全国平均の1.43を大きく下回る水準

## 目指すべき将来の方向

### ● 若い世代の流入と出生数の増加

- ・今後見込まれる人口減少と人口構造のバランス悪化を緩和するためには、若い世代の流入促進とともに出生数を上げることが必要

- ⇒ ・若い世代の呼び込み・定住促進  
・出産・子育てしやすい地域づくり  
・多様な就業を支える環境づくり など

### ● いつまでも安心して暮らせるまちづくり

- ・まちの魅力の更なる向上や高齢化への対応、基盤強化による持続可能なまちの実現により、居住の安定化を図る
- ・人口減少の中での豊かなまちづくり

- ⇒ ・“健幸”に暮らせるまちづくり  
・コミュニティ・ネットワーク  
・持続可能な財政運営 など

# ■ 将来展望人口（目指すべき将来人口）

## 多摩市の将来展望人口（目指すべき将来人口）

平成22(2010)年：**14.7**万人 ⇒ 平成72(2060)年：**11.7**万人

※総人口：平成22年人口比で▲20.7%、社人研推計準拠人口（平成72年）比で+16.4%  
高齢化率：39.5%（平成22年の20.9%より高まりますが、社人研推計よりも低い水準になります。）

### <将来展望人口の前提条件>

#### ① 出生に関する条件 ～出生率は全国平均水準の1.43～

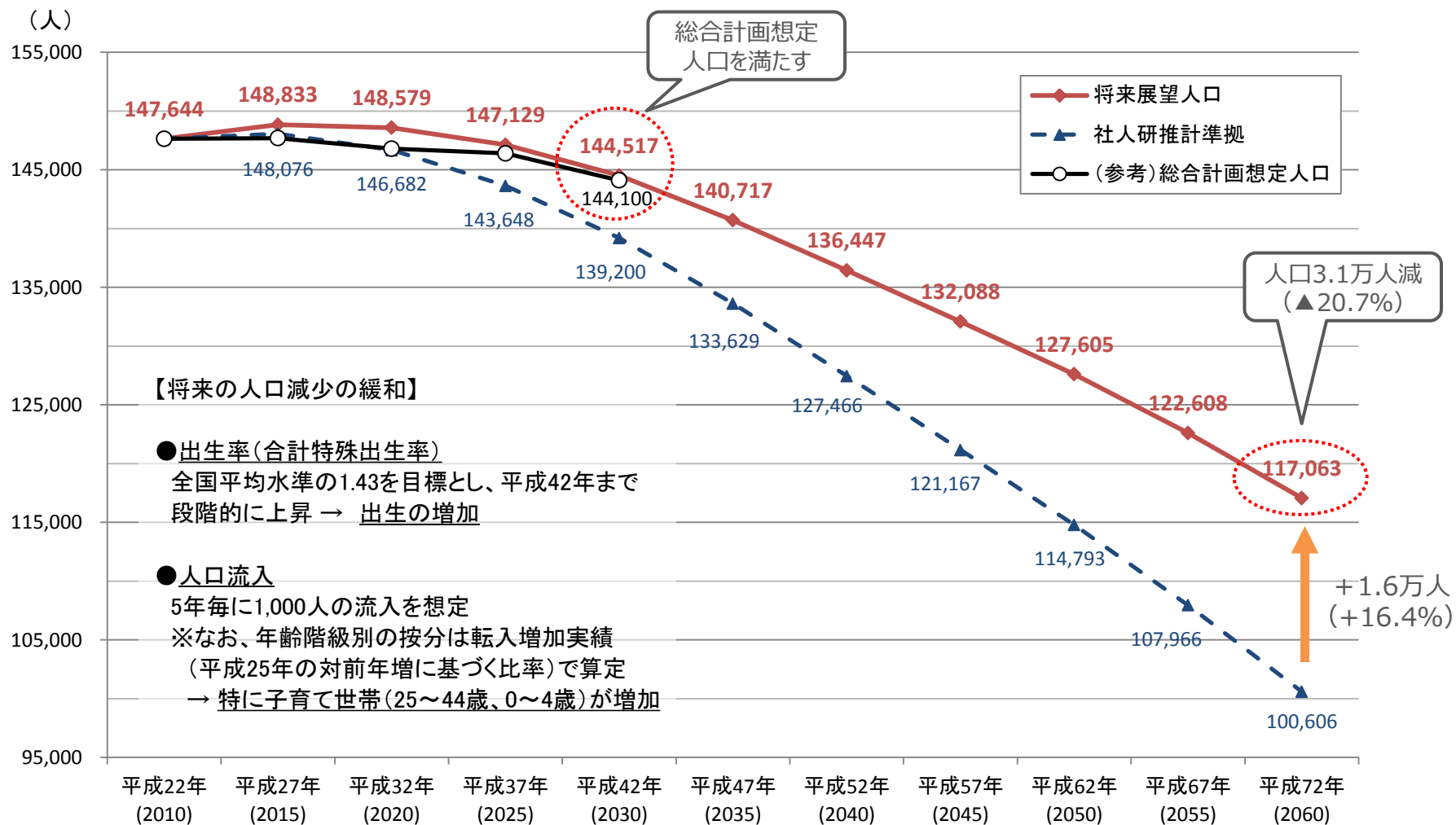
※結婚や出産に関する希望が実現した場合の想定の出産率は1.80（国の目標）とされていますが、多摩市の現在の出生率は1.13と全国平均の1.43を大きく下回っている状況です。そのため、国の現状1.43→目標1.80と同程度の上昇を目指すと想定し、多摩市の現状1.13→目標1.43（全国平均水準）とします。

#### ② 一定程度の人口流入 ～子育て中の世帯を中心とした新たな人口流入を想定～

※新たな人口流入の規模としては年間200人程度を見込みます。  
特に子育て中の世帯（25～44歳、0～4歳）で増加割合が高い想定です。

# 将来展望人口（目指すべき将来人口）

～2割程度の人口減少にとどめる～



- ・平成72年の総人口で117,063人を見込み、国立社会保障・人口問題研究所の推計と比較し、1.6万人多い水準とします。
- ・平成22年の人口との比較では、3.1万人（2割程度）のマイナスにとどめます。
- ・第五次多摩市総合計画第2期基本計画の想定人口（平成43年4月を平成42年として表記）ともほぼ整合します。

# 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略

# ■多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略における4つの基本目標

## <取り組み>

### ～多様な就業を支える環境づくり～

- ・女性、若者、シニアが元気に働き、活躍する環境づくり
- ・地元雇用の創出

## <取り組み>

### ～”健幸”に暮らせるまちづくり～

- ・健幸都市(スマートウェルネスシティ)に関する取り組みの推進
- ・都市基盤の整備・維持更新
- ・“健幸”を支えるネットワーク

◆基本目標1  
安定した雇用  
を創出する

☆好循環を支えるまちの基盤づくり

◆基本目標4  
いつまでも安心して暮らし続けられる  
まちをつくる

☆しごと・ひとの好循環づくり

◆基本目標2  
新しい人の  
流れをつくる

◆基本目標3  
子育て・子育て  
をみんなで支える

## <取り組み>

### ～仕事と子育てを両立できる地域づくり～

- ・子育てを支える保育サービスの基盤整備
- ・地域ぐるみの子育て・子育て支援
- ・特色ある教育の推進

## <取り組み>

### ～新たな交流の促進と若い世代の呼び込み～

- ・若い世代・子育て世代に魅力ある住宅政策の展開
- ・若者の視点を活かしたまちづくりの推進
- ・新たな交流が生まれ、育まれるまちづくり
- ・シティセールスの推進

## 《キーワード》 雇用促進・就労支援・創業支援・活躍の場

### 【主な取り組み】

#### ● 女性、若者、シニアが元気に働き、活躍する環境づくり

- (1) 女性が就労しやすい環境の整備
- (2) 起業・創業の支援
- (3) シニア世代の活躍支援



ビジネススクエア多摩(創業支援施設)

#### ● 地元雇用の創出

- (1) 多様な雇用の場の確保



企業立地が進んだ多摩センター地区



～新たな交流と若い世代の呼び込み～

## 《キーワード》 魅力発信・来街促進・定住促進

### 【主な取り組み】

#### ●若い世代・子育て世代に魅力ある住宅施策の展開

- (1)若い世代・子育て世代の転入・移住促進
- (2)多様なニーズに応える空き家活用・住替え支援

#### ●若者の視点を活かしたまちづくりの推進

- (1)学生のまちづくりへの参画促進

#### ●新たな交流が生まれ、育まれるまちづくり

- (1)「訪れてみたい、住んでみたい多摩市」に向けたPR
- (2)地域間交流の促進

#### ●シティセールスの推進

- (1)多摩市のシティセールス戦略の構築
- (2)まちのPR・魅力発信



乞田川の桜(4月)



多摩センターイルミネーション  
(11月～1月)

## 《キーワード》 両立支援・コミュニティ・教育

### 【主な取り組み】

#### ● 子育てを支える保育サービスの基盤整備

- (1) 保育所の待機児対策
- (2) 就労と子育ての両立支援
- (3) 放課後の子どもの居場所づくり

#### ● 地域ぐるみの子育て・子育て支援

- (1) 地域コミュニティによる子育て支援の充実

#### ● 特色ある教育の推進

- (1) 持続発展教育・ESDの推進

#### ● 《再掲》女性が就労しやすい環境の整備、 近居・隣居の支援



たまっこひろばの様子



Web会議システムを使った授業の様子

## 《キーワード》 健幸・コミュニティ・ネットワーク

### 【主な取り組み】

#### ● 健幸都市(スマートウェルネスシティ)に関する取組の推進

- (1)健康寿命を延伸する取り組み
- (2)多摩市版地域包括ケアシステムの構築
- (3)身近な相談拠点の整備

#### ● 都市基盤の整備・維持更新

- (1)多摩ニュータウン再生の推進
- (2)既成市街地の都市基盤整備の推進

#### ● “健幸”を支えるコミュニティ・ネットワークの構築

- (1)市民の多様な活動を支える環境整備



健康づくり推進員 月例ウォーキング



建替えが終了した諏訪2丁目住宅  
(平成25(2013)年10月)